

## 刈払機(草刈機)の使用中の事故にご注意ください！

初夏を迎え、刈払機(草刈機)を使って家庭の庭木の手入れなどを行う機会が多くなります。刈払機は、ホームセンターやインターネットなどで個人でも簡単に購入することができ、手軽に使える便利な機器です。しかし、鋭利な刈刃がついており、使用中は高速で回転するため、慎重に取り扱わないと指や脚などの骨折や切断などといった取り返しのつかない重篤なケガにつながる危険性があります。

事例をご紹介します。

- ・ 夫と草刈りをしていたところ、夫が振り返った際、動いたままの刈払機がふくらはぎに当たり受傷した。手術を要し、約2週間の入院となった。(被害者:80歳代 女性)
- ・ 刈払機を使用中に、誤って手を巻き込んだ。左人差し指を切断し、手の甲に切り傷を負い、入院となった。(被害者:60歳代 男性)

刈払機を使う際は特に以下の点に気を付けましょう。

刈払機を使用する前は必ず取扱説明書を読み、注意事項を確認してから正しく使用しましょう。

作業するときは長袖、長ズボンの作業服を着て、ヘルメットや保護メガネなどの保護具を身に着けましょう。

刈払機で作業する際は、飛散物や障害物などによって跳ね返った刈刃が当たる恐れがあるので、周囲の人から15メートル以上離れて作業しましょう。

刈刃に巻き付いた草や異物を取り除く際は、必ず刈払機を止めてから行ってください。

(参考:国民生活センターウェブサイト)

